

令和4年度 北海道大学教育学部 第3年次編入学及び転部試験

試験問題（総合問題）

9時00分～10時30分

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題は、(英語)と(論文)の2つがある。両方の問題のすべての問いに解答すること。
- 3 問題紙は、この頁を含めて6枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚ある。
- 5 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙及び下書き用紙は、すべて持ち帰ること。

以上

問題1 (英語)

以下の文章は吃音症とその治療について書かれたものである。この文章を読んで、すべての問いに答えなさい。

出典 : Walt Manning (2014), "How Can You Understand? You Don't Stutter!"
Contemporary Issues in Communication Science and Disorders, Volume31,issue Spring
March, 58-68.

*PWS : People Who Stutter の略 *working alliance : 臨床医と患者の作業同盟

* spontaneous : 自発的

問1 臨床医が行う吃音症の診断のうち、もっとも基本的な観点はどのようなものか。本文中にある表現に即して、日本語で説明しなさい。

問2 下線部 A の that は何を指しているか。本文中にある表現に即して、日本語で答えなさい。

問3 この文章で筆者は吃音症の治療において、患者が自身の症状を知ることが重要であるとの考えを示している。以上を踏まえ、筆者の治療方法の特色をもっとも的確に表している一文を本文から抜き出しなさい。

問題二 次の文章は、酒井邦嘉『科学者という仕事―独創性はどのように生まれるか―』（中公新書、二〇〇六）の一部である。これを読んで、問一から問三に答えなさい。

問一 傍線部①「一歩踏み込んだ説明」とはどのような説明か。本文中の言葉を
用いて六〇字以内で述べなさい。

問二 傍線部②に「現代の心理学がこのように二面性を持っている」とある。こ
こでいう二面性と意味が最も近いものを以下の四つの選択肢から一つ選びなさい。

- (ア) 自由意志によって生じる人間の行動と、自然法則によって生じる人間の
行動に関する二面性
- (イ) 人間の行動が偶然に生じると考える科学的心理学と、自由意志が必然性
を伴うと考える非科学的心理学
- (ウ) 心理学において人間に自由意志があることを認める立場と、それを必ず
しも認めない科学的立場
- (エ) 自由意志は偶然ではなく必然的に生じると考える一方で、偶然には自然
法則による必然性もあると考えること

問三 本文において著者は、問題となる現象を目的から解釈するのは非科学的
であるとしている。これに対して同意または不同意の立場から、教育への科学研
究の関わりについてのあなたの考えを、教育に関する事象の具体例を挙げなが
ら二五〇字以内で説明しなさい。